

# 我が国におけるプラタナスゲンバイ (新称) *Corythucha ciliata* (SAY) (カメムシ亜目: ゲンバウムシ科) の発生

時 広 五 朗・田 中 健 治\*・近 藤 圭\*

横浜植物防疫所

\*名古屋植物防疫所

Occurrence of the sycamore lace bug, *Corythucha ciliata* (SAY) (Heteroptera: Tingidae) in Japan. Goro TOKIHIRO (Yokohama Plant Protection Station, 5-57 Kitanakadohri, Naka-ku, Yokohama 231-0003, Japan), Kenji TANAKA and Kiyoshi KONDO (Nagoya Plant Protection Station, Irifune 2-3-12, Minato-ku, Nagoya 455-0032, Japan). *Res. Bull. Pl. Prot. Japan* **39**: 85-87 (2003).

**Abstract:** The sycamore lace bug, *Corythucha ciliata* (SAY) previously unknown to Japan, was found injuring the leaves of plane trees, *Platanus* spp. in Nagoya (Aichi Prefecture) in September, 2001. Through subsequent investigation, the lace bug was also discovered in several cities, such as Tokyo, Yokohama (Kanagawa Pref.), Shimizu (Shizuoka Pref.), Matsuyama (Ehime Pref.), and Kitakyushu (Fukuoka Pref.). Notes on the morphology of the adults and mature nymphs are given with their photographs. The possibility of the rapid dispersal of this lace bug in Japan is discussed referring to the case in the Republic of Korea where the bug has been introduced recently spread widely within a few years.

**Key words:** new record, the sycamore lace bug, *Corythucha ciliata*, *Platanus* spp., Japan

## はじめに

著者らは、2001年9月に愛知県名古屋市の港湾地域に栽植されているプラタナス (*Platanus × acerifolia* 及び *Platanus orientalis*) に、我が国からは未記録と思われるゲンバウムシが寄生しているのを確認した。

ゲンバウムシの発生が認められたのは、港湾地域内のごく一部のプラタナスであったが、発生している木での生息密度は高く、葉裏には多数の幼虫と成虫が認められた。寄生を受けた葉の表面には、ゲンバウムシが吸汁した後にできる白色の脱色斑が現れており、生息密度の高い葉では、全体が白色、あるいは黄白色を呈していた。また、最も激しい被害を受けた木では、樹冠部全体が白味を帯びるという状況が観察された (Figs. 2 & 3)。

## 種の同定

DRAKE & RUHOFF (1965) によると、プラタナスに寄生するゲンバウムシとして *Corythucha ciliata* (SAY) と *C. confraterna* GIBSON が知られている。今回

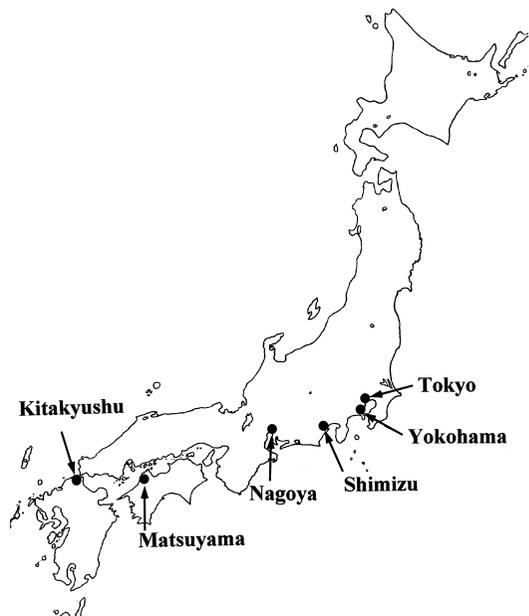


Fig. 1. Distribution of *Corythucha ciliata* in Japan. Solid circles show the location where *C. ciliata* was discovered.

発見されたグンバイムシの形態は、*Corythucha ciliata* (SAY) の記載 (GIBSON, 1918) 及びイタリア産の *Corythucha ciliata* (SAY) の標本とよく一致したことから、著者の一人時広は、これを *Corythucha ciliata* (SAY) と同定した。本種は北米原産で、近年ヨーロッパや韓国などに分布を拡大しているプラタナスの害虫である。

なお、本種の和名をその食性から「プラタナスグンバイ」とした。

## 分布調査

名古屋でプラタナスに本種が発生しているとの情報を受けて、2001年10月上旬から同月中旬にかけて、植物防疫所によって植物防疫所の所在地及びその周辺地域において発生調査が実施された。その結果、東京都港区、神奈川県横浜市中区、静岡県清水市、愛媛県松山市及び福岡県北九州市の5都市の港湾地域や周辺の市街地で新たに発生が確認された (Fig. 1)。しかし、調査時の生育密度はいずれの地域でも低かった。

## 形態

雌成虫の体長は3.7 mm 内外 (頭端から翅端まで、以下同じ)、雄成虫は3.5 mm 内外。背面から見て全体的に乳白色。頭部は胸部の帽状部に覆われ見えない。帽状部下方の前胸背板は黄褐色。前翅のやや前方の中央よりに明瞭な黒褐色紋を有する。前胸背板翼状部の周縁、前翅の前縁及び背面網目状の翅脈上に棘を列生する (Figs. 6 & 7)。

本種は、背面が乳白色であることと独特の黒褐色紋をもつことで、日本産の既知種から容易に識別される。

終令幼虫 (Fig. 5) は黄褐色で、頭部全体、前胸背の一部、翅芽の基部及び腹部中央は暗色を呈する。頭部背面、体側部及び腹部背面中央に、太くて鋭い棘状の突起を有する。

## 考察

### 1. 我が国における分布拡大の可能性について

本種は近年、隣国の大韓民国 (以下、韓国と言う) に侵入している。初めて発見された1995年に韓国で実施された全国調査によれば、本種は、この時点では韓国中部の太田市 (釜山から北に200 kmの地点にある都市) 以北にのみ分布し、それより南では発見されなかった (CHUNG *et al.*, 1996)。

著者の一人時広は、2001年10月中旬から2カ月間、韓国釜山広域市に滞在し、同市街に街路樹として栽植されているプラタナスを観察する機会を得た。その際、多くの木に本種の明瞭な加害痕を認めた (Fig. 4)。これは、本種が韓国内で6年間に少なくとも200 kmを移動したことを示している。

本種の我が国における分布は、現時点では局地的であり、かつ東京以西に限られている。本種が分布を広げるメカニズムはよく判っていないが、上記の韓国の事例から推測して、気候の似た我が国でも今後短期間で分布を拡大する可能性が高い。

### 2. 被害について

前述の釜山市では、大発生しているにもかかわらず、枯死したプラタナスは認められなかった。また、本種の吸汁による被害の一形態として、ヨーロッパやアメリカ合衆国では早期に落葉することが知られているが、釜山市ではこうした現象も観察されなかった。

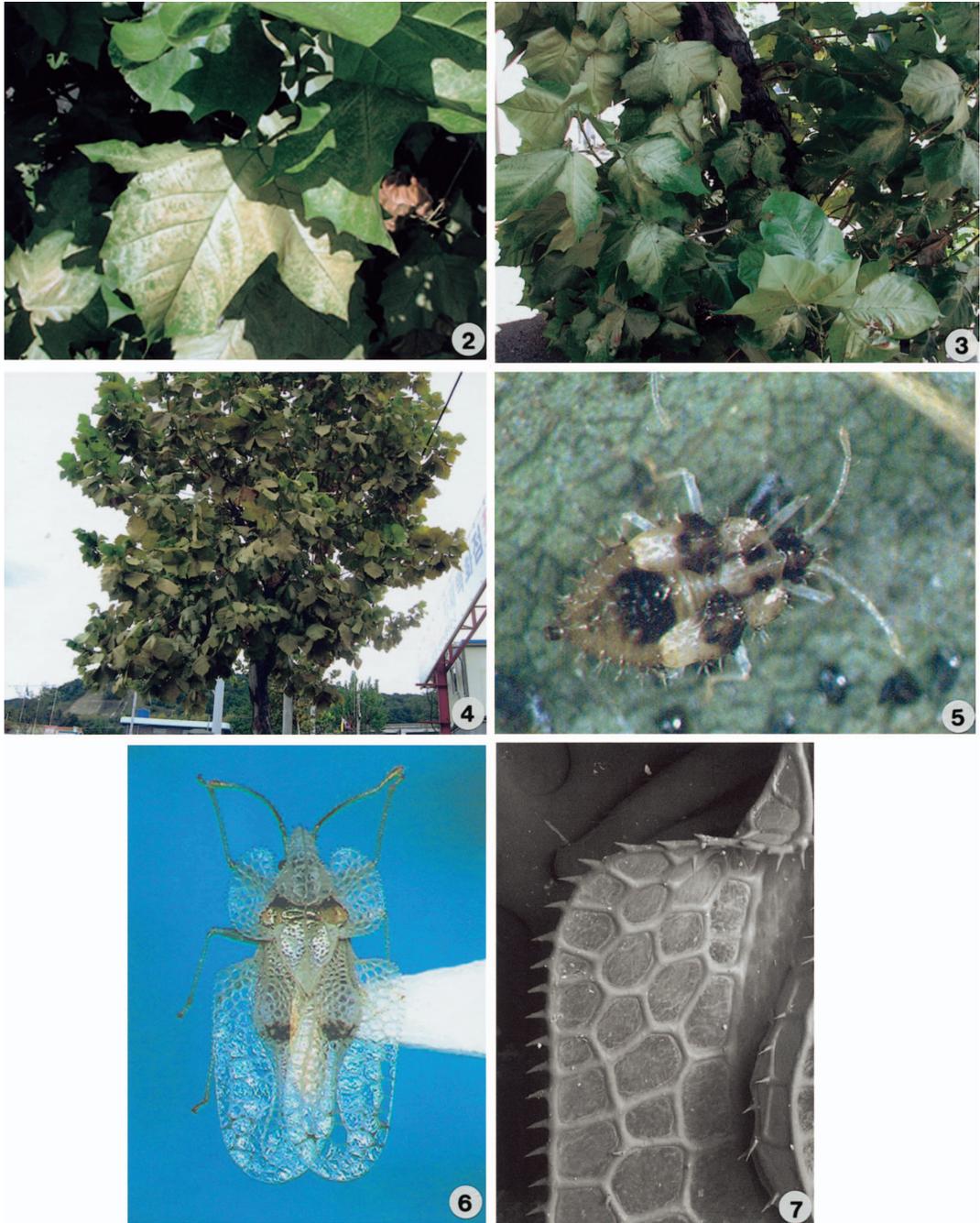
我が国では、生息密度が高かった名古屋市の発生地でも、早期落葉、枯死といった現象は認められなかった。韓国での被害の状況を考え合わせると、今後我が国で本種の発生が勢いを増しても、街路樹や公園樹の美観が損なわれる程度の被害は予想されるものの、落葉や枯死といったより深刻な事態となる可能性は低いと思われる。

## 謝辞

本報告にあたり、イタリア産のプラタナスグンバイの標本を提供していただくとともに、本種に関し種々ご教示いただいた国立科学博物館の友国雅章博士に感謝申し上げます。また、神戸植物防疫所の戸谷研二氏と門司植物防疫所の田尾政博氏にはプラタナスグンバイの発生に関する情報をいただいた。この場を借りてお礼申し上げます。

## 引用文献

- CHUNG, Y.-J., KWON, T.-S., YEO, W.-H., BYUN, B.-K. and PARK, C.-H. (1996) Occurrence of the sycamore lace bug, *Corythucha ciliata* (SAY) (Hemiptera: Tingidae) in Korea. *Korean J. Appl. Entomol.* 35(2): 137-139. (In Korean with English summary.)
- DRAKE, C. J. and RUHOFF, F. A. (1965) Lacebugs of the World: A Catalog (Hemiptera: Tingidae). *U.S. Nat. Mus. Bull.* 243: I-VIII, 1-634, pls. 1-56.
- GIBSON, E. H. (1918) The genus *Corythucha* STAL (Tingidae; Heteroptera). *Trans. Am. Ent. Soc.* 44: 69-104.



**Fig. 2.** Plane leaves heavily injured by *Corythucha ciliata*. The leaves show severe discoloration.

**Fig. 3.** A plane tree badly infested by *C. ciliata* (at Nagoya, Japan in late September).

**Fig. 4.** Same (at Busan, R. Korea in late October). Almost all leaves have turned brownish yellow.

**Fig. 5.** Mature nymph of *C. ciliata*.

**Fig. 6.** Adult of *C. ciliata*.

**Fig. 7.** Spined humeral margin of *C. ciliata* adult.